

団体名	国立米子工業高等専門学校						
事業名	留学生が地域と共に考える環日本海海洋環境問題						
実施期間	平成30年 6月22日～24日、6月29日～30日、9月24日						
場 所	福井県小浜市、鳥取県米子市、鳥取県西伯郡大山町、鳥取県日野郡江府町						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	57	8	16	11	9	37	138名

### <実施内容>

<p>①事業実施日:平成30年 6月22日～24日 若狭湾プログラム  22日(金)「韓国船遭難救護の碑」見学  23日(土) 朝の集い、海洋環境研修①(スノーケリング・カヌー)交流会(地域住民)、海洋環境研修②(環境講演)  24日(日) 海洋環境学習③(カッター)</p> <p>②事業実施日:平成30年 6月29日～30日 米子高専プログラム  29日(金) 学校紹介、日本文化体験(茶道) 昼食交流会、地域・歴史研修(大山寺)、地域交流会  30日(土) 企業見学(江府町、奥大山天然水工場)</p> <p>④事業実施日:平成30年 9月24日 よなご国際交流フェスティバル  24日(祝) 海洋環境問題の活動紹介(解説、ビデオ上映、ブース展示、パネル展示)と意見交換(地域住民)</p>
--

### <記録写真>



遭難救護碑の見学



茶道体験



サントリー工場(雪室)見学

### <参加者からのコメント>

米原 大世さん(日本)/YONEHARA TAISEI

アハマド アリフ ヒルミ ビン アハマド ファさん(マレーシア)  
/AHMAD ARIFF HILMI BIN AHMAD FUAAD

私は海洋漂着ゴミを通して日韓の環境問題を考える環境研修に参加しました。この研修は、6月22～30日まで福井県の若狭湾と米子市で韓国の南ソウル大学校と群山大学校の学生と一緒に実施したものです。研修では若狭湾や米子市の自然に触れながら環境保全の大切さを学ぶと共に、日本と韓国での文化や価値観の違いについて理解を深めることが出来ました。また韓国の学生とコミュニケーションをとる中で、私たちと同じ世代の外国人がどのように日本を見ているのか、またどのようなイメージを持っているのかというのが分かり、「外から見た日本」という観点から改めて日本の文化や環境について考えることが出来ました。

私は、6月22日から24日まで若狭湾青少年自然の家での環境研修に参加しました。米子高専の留学生と日本人学生、南ソウル大学と群山大学からの韓国人学生ときれいな若狭湾の海でスノーケリングやカヌー、カッターをしました。海での活動の中で環境問題を一緒に考えました。また、若狭湾の団体によるよさこい祭の見学や体験をして地域の方々と交流することが出来ました。

この研修では、他国の人や地域の人と一緒に異なった文化を学ぶことで、協力する力を養うことができ、貴重な経験となりました。